

第37回青森県カーリング選手権大会

(兼 第37回東北カーリング選手権青森県代表選考会)

審判長通知事項

チームミーティングは今大会ではスケジュールの関係上、開催いたしません。競技方法の確認等、疑問点や質問等がある場合には事前にメールにて照会して頂くようお願いいたします。

1. 競技規則について

本大会は(公社)日本カーリング協会競技規則 2022年11月版(黄色表紙)、および本大会が定める規則によって行います。従って、競技規則を理解して大会に参加願います。なお、本大会は予選ラウンドロビンをランニングタイム、セルフジャッジで、プレーオフをシンキングタイム、審判員配置で実施します。

2. ラインナップカードについて

11月6日(月)付けで既にオリジナルラインナップの提出は頂いております。オリジナルからの変更がある場合は、変更ラインナップカードを試合開始の40分前までに会場大会本部へ提出してください。

3. ユニフォームについて

(公社)日本カーリング協会の「ユニフォーム規定」《2020年4月改定 Ver.1~JCA競技委員会~》に基づくユニフォームを着用することとします。(明暗2種類を準備する必要は無いが、統一されていること)

4. 使用するストーン及びホッグライン違反について

会場にある大会用ストーンを使用します。

今大会では、ホッグライン違反を検知するための電子ハンドルを使用しません。

ホッグライン違反がないように十分注意してください。(ホッグライン審判は付きません) アピールがあった場合や、明らかにオーバーしている選手が見受けられる場合は審判を配置します。

5. 競技方法について

参加チーム：男子8チーム、女子5チーム

男子は2ブロック各4チームでラウンドロビンを行い、各ブロック上位2チームでの変則ページシステムによるプレーオフにより順位決定を行います。

女子は1ブロック5チームでラウンドロビンを行い、上位4チームでのプレーオフにより順位決定を行います。

6. 試合について

各試合におけるエンド数、シンキングタイム、ハーフタイムについては以下の通りとします。

試合	エンド	時間	ハーフタイム
ラウンドロビン	8 エンド	ランニングタイム 99 分	あり（4 エンド終了後に 5 分間）
プレーオフ	8 エンド	持ち時間 30 分	あり（4 エンド終了後に 5 分間）

（ラウンドロビン）

ランニングタイム制による計時を行います。シート毎の計時は行いません。タイマーを 99 分に設定し、タイマーの残時間がゼロになった時点の次のエンドで終了とします。プレーエンドとは第 1 投球者の 1 投目がデリバリーする側のティーラインを超えていること。ハーフタイムの 5 分間は各自で計測してください。

（プレーオフ）

シンキングタイム制による計時を行います。時間切れに気をつけて下さい。（没収試合 L）

エンド間に 1 分間のブレイクが与えられます。チームはブレイクが終了する前に次のエンドの最初のストーンをデリバリーすることができません。エンドの 1 投目がブレイク終了後 10 秒以内にデリバリーされた場合、計時は動きません。

ラウンドロビン及びプレーオフとも、最終エンド終了後同点の場合は、サドンデスのエキストラエンドを行います。エキストラエンドが必要な場合、計時している試合でのシンキングタイムは 1 エンド毎に 4 分 30 秒です。

ハーフタイムでは選手はコーチ、リザーブ、及びチーム関係者に会うことが許されません。ラウンドロビンでは各自計測、プレーオフでは終了 1 分前を通知しますので試合を再開する準備をし、ブレイク終了後 10 秒以内に投球を行ってください。

【注意】

スケジュールが非常にタイトでギリギリの設定になっていることから、ラウンドごとに全チームの準備ができしだいゲームをはじめの予定です。そのため、試合の進行状況により試合開始時間をくりあげることがありますのでご協力ください。その場合は早め早めの通知をしますが、（アナウンス・場内掲示）なるべく早めに会場に待機してください。

7. 試合前練習について

- 試合前練習は試合開始時刻の 20 分前に先練習のチームから 5 分間行います。
- 予選ラウンドロビンでは、タイムスケジュール表上段のチームが赤ハンドル、先練習とします。（ただし、男子ラウンドロビンのそれぞれの第一試合は、練習の後先をトスで決定してください。）
- 決勝戦・3 位決定戦では後攻を選択したチームが先に練習を行います。
- プレーオフその他の試合については 10 項を適用します。

8. 予選でのラストストーンの扱いについて（1 エンド目の後攻）

- 予選では、試合前練習後に L S D を行って第 1 エンドの先攻・後攻を決定します。
- L S D はチームの代表 2 名が 1 投ずつ行い、時計回りの方から行ってください。2 投の合計距離の短いチームが第 1 エンドの先攻・後攻を選択する権利を有します。L S D の合計値が同じ場合は個々の数値が最も小さい方のチームとし、全てが同じ場合はコイントス等により先攻・後攻を選択するチームを決定します。
- ラウンドロビン全体として最低投球回数は男子については一人 1 投、女子は 2 投となり

ます。(男子は全6投のうち、4投は異なる人が投球しますが、残りの2投は投球者が重なります。その際は、一度投げた回転と逆の回転で投球を行ってください。女子は全8投をそれぞれ異なる人が異なる回転で2投投げてください)

- ・投球順や回転方向、最低投球回数で違反のあった場合は185.4cmと記録します。
- ・今大会では2点計測は実施しないものとします。

9. 予選順位の決定について

ラウンドロビン終了後、以下の場合、直接対戦の勝者が上位。

- ③ 3チーム以上が同率の場合、該当チーム間の勝敗順。
- ④ 以上で順位が決定できない場合、DSCの短いチームが上の順位。

DSCは予選で投球のLSDのうち、最も悪い記録1つを除いた平均距離である。

10. プレーオフでのラストストーンの扱い【競技規則C8(f)(g)】

- ・プレーオフでは異なるグループからのチームの場合はDSCの短いチームが先練・後練を選択する、もしくはストーンの色を選択する。そして通常のLSD手順(最低投球回数の制限はなし)により1エンド目の先攻後攻を決定する。

同じグループからのチームの場合は

- (1)勝敗の記録が勝るチームが、ストーンの色と1エンド目の先攻後攻を選ぶ。
- (2)勝敗の記録が同一の場合は、予選の直接対決で勝ったチームがストーンの色あるいは1エンド目の先攻後攻を選ぶ。

上記に拘らず、予選1位同士のゲームの勝者は、決勝戦のストーンの色あるいは1エンド目で先攻後攻を選ぶことができる。また、準決勝で敗れたチームが3位決定戦のストーンの色あるいは1エンド目、先攻後攻の選択権を有する。

- ・プレーオフでの選択項目(先攻・後攻、ストーン色、試合前練習の後先)については両チーム間で決定し、選択権のあるチームが試合開始の40分前までに大会本部に報告して下さい

11. チームタイムアウトについて

①チームタイムアウト

- ・チームタイムアウトについては、プレーオフに限り各試合1回、エキストラエンドでエンド毎に1回取ることができます。
- ・コーチの有無、ホーム、アウェーに関わらず一律150秒とします。終了10秒前を審判員が通知しますので、終了後コーチは速やかにシートから退出して下さい。
- ・選手と話し合う際のコーチの位置は、基本的にはバックボード後方のみとしますが、AおよびDシートでの試合に限り観客席サイドおよび横通路からも認めます。なおボード側の場合には観客席後方通路を通りアイスマン出入り口を利用して下さい。
- ・大会時はコーチ、リザーブ席を用意しますが、登録されていない者が着席することはできません。着席できる者はチームコーチの資格基準(2020年4月改訂)に準じ、「日本スポーツ協会公認カーリングコーチ1」以上の資格を持つ者とします。(コーチ不在の場合、リザーブのタイムアウト時の選手との接触は可能とする)

②テクニカルタイムアウト

プレーオフ時、ルールの解釈、ケガやその他の酌量すべき事情が起きた場合チームはテクニカルタイムアウトを取る事が出来ます。(テクニカルタイムアウト中、時計は止まります。)

選手は両腕で「X」の字を作って計時審判に合図をして下さい。

テクニカルタイムアウトが認められない場合は、時計は動きます。

12. アイスへのダメージ

プレイヤーは、用具、手あるいは体でアイスにダメージを与えてはいけません。(競技規則

R10)

13. ブラシヘッドについて

スウィーピング用具については、WCF認定パッドを使用することとします。

※デリバリー用のみに用いる場合は、毛ブラシ等の非公認ブラシヘッドの使用も可とします。

14. その他

- 本大会ではノーティックルールを用います。
 - 故意に試合の進行を遅らせる行為は、慎んでください。遅延行為と判断した場合は、競技規則 C6.計時(m)の規則(45秒ルール)の適用を指示する場合があります。
 - 予選では得点ボードへの表示は各チームで掲示してください。
 - 各試合の記録用のスコアシートは各チームにて記入し本部（2F 観覧席）に提出して下さい。
 - 試合終了後のアイスシープ（モップ）、及び得点ボードの取り外しについては勝者が実施して下さい。
 - 試合中にアイスメイクのためモータースクレイパーがシートを横切る場合があります。
 - 競技に関わる問題については、カーリング精神に基づき、両チームで解決するよう努めて下さい。
 - 試合の進行状況によりタイムテーブルの時間は変更になることがあります。変更になる場合は対象チームへ通知しますので、十分な余裕をもって集合して下さい。
 - 本大会における最低プレイエンドはありません。
 - 本大会は事情により3人のプレーヤーで大会を開始することを認めます。
 - ラウンドロビンの試合ではオンアイス審判を配置しません。そのため試合中のストーン計測は選手で対応してください。
 - 予選リーグ（ラウンドロビン）で敗退されたチームには、大会3日目プレーオフの運営協力を依頼しております。具体的な配置は別紙に記載しております。大会運営のご協力をお願いいたします。
- なお、注意事項として
- 計時担当で計時ができないチームは、敗退チーム同士で計時とオンアイス統括を入れ替えて対応ください。
- 運営ご協力の方へ、お弁当を昼・夜それぞれ1個/チームずつ準備いたします。
- 試合中は必ずマスクを着用し、飛沫防止には留意してください。呼吸を整える等の理由でマスクを外すときは、プレイから外れてください。また、試合時以外のマスクの着用は確実に行ってください。

審判長 加藤 守

※ メールでの問い合わせは、効率化のため以下の3者に送付してください。

大会審判長兼事務局（加藤 守 mbk.curling3709@michinokubank.co.jp）

競技委員長（菅原博匡 www-suga0216@outlook.jp）